

防衛協会大田原支部研修 自衛隊の理解を高め、歴史の認識を深める！



土浦駐屯地見学の様子



平和記念公園研修



体験喫食



バランスの取れたおいしい食事でした。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、11月12日（水）防衛協会大田原支部（支部長 玉木 茂氏）の陸上自衛隊土浦駐屯地及び筑波海軍航空隊記念館研修を支援した。

この研修会は、自衛隊の理解と歴史認識を深めるために、計画され、13名が参加した。

陸上自衛隊土浦駐屯地においては、資料館の見学、体験喫食、平和記念公園の研修が行われ、自衛隊の理解を深化することができた。特に体験喫食においては、バラエティーに富んだ献立表に驚くとともに栄養バランスの取れた食事のおいしさに感銘を受けていたようであった。また、筑波海軍航空隊記念館においては、戦争の歴史を学ぶとともに『命、平和の尊さ』について考える機会となった。

今回の研修について、玉木会長は、「隊員が丁寧に説明してくれる事により、自衛隊について理解が深める事ができて、大変よかった。感謝したい」と話してくれた。

大田原地域事務所は、「今後も防衛協会大田原支部と連携し、理解を深めてもらう広報で、募集広報の強化を図っていく」としている。